

自由が丘イベントコラボレーション	履修年次	2	
	単位	4	
岩井 善弘、西村 康樹	配当期	通年	
	授業方法	演習/対面	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>この授業は、自由が丘商店街が実施する大きなイベント(スイーツフェスタ、女神まつり、クリスマスイベント)と本学学園祭(自由が丘産能祭)に、学生自らが運営スタッフとして参加することによって、社会におけるイベントの意義や役割について体験的に学ぶ。これらイベントは、本学、自由が丘商店街振興組合、協賛各社という大学・地域・企業の三位一体で進めており、大学生が日常では経験できないことを実践することができる。</p> <p>この授業は、4月末から12月まで通年で行われ、講義と実習で28回になる。4つのイベントには、必ず参加が求められ、シラパスに決められた参加回数に達しない場合は、不合格となる。また取り組み態度の悪い学生も不合格とする。さらに、授業外活動や打ち合わせが多いので、大いなるボランティア精神も求められる。</p> <p>※なお、本科目は「自由が丘コンシェルジュ」「世田谷タウンプロジェクト」との同時履修は認めないので注意すること。</p> <p>授業外学習、課題の指示・提出は manaba により行う</p> <p>※現下の社会情勢の影響によりシラパス内容の変更もあり得るが、その場合は臨機応変に対応していく。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの企画と実行という実践の場で、イベント企画の基礎知識や進め方を身につけることができるようになる。</li> <li>・実践の場に身を置くことで、直面する課題に対し臨機応変な対応力を身につけることができるようになる。</li> <li>・地域社会・企業など、実社会の様々な方々との交流を通じ、多様な文化や価値観を受け止め、社会貢献できるようになる。</li> <li>・グループ内での協働作業の進め方や役割分担によって、協調性や責任感を身につけることができるようになる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
イベントの企画・運営を通じて、どのような知識やスキルが身に付いたかを確認するための課題、実際のイベントで直面する問題に適切に対応できたかどうか、自分の意見を述べ傾聴し、協調性をもって行動したか、さらに授業外学習への参加状況、活動状況をもって評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	授業説明と自由が丘の歴史・文化、を学ぶ(4/13)	14~17	女神まつり実習(10/9,10)
2	スイーツフェスタ実習準備(4/20)	18	女神まつり総括(10/12)
3	スイーツフェスタ実習準備(4/27)	19	産能祭企画準備(10/26)
4~7	スイーツフェスタ実習(5/2~5/5)	20	産能祭準備(11/2)
8	スイーツフェスタの総括(5/11)	21~23	産能祭実習(11/6,7)
9	自由が丘森林化計画概要を学ぶ(6/1)	24	クリスマスイベント企画策定(11/16)
10	女神まつりの企画案検討(6/15)	25	クリスマスイベント実習準備(11/23)
11	女神まつりの企画案決定(7/13)	26~27	クリスマスイベント実習(12/5)
12	女神まつりの役割話し合い(9/21)	28	最終発表会準備(12/7)
13	女神まつり役割決定・業務確認(9/28)		